

グローバル感覚と幅広い視野の育成に

社内活動

国内外の各分野の専門家を外部講師に招いて社員研修を実施。



2013.10.21

アメリカの食品衛生検査事情

講師：ポール・佐藤氏（米国バイオ企業ネオジェン社 元副社長・MBA（経営学修士））

衛生事業を行っている当社として、この分野において先進の米国や世界の状況をお話頂きました。



2013.10.23

水ビジネス市場の展望と日本企業の展開戦略

講師：吉村和就氏（グローバルウォータージャパン代表）

世界の水ビジネスの現状と、中小企業としてできることについて講演頂きました。

2013.10.27、2014.2.23

アメリカの環境分析市場

講師：スティーブン・ビンセント氏（米国分析会社 元代表）

アメリカの環境分析市場についての講演を頂きました。さらに日吉のラボを見学頂き、アメリカラボとの違いや改善点などの指摘、技術スタッフとの交流などを行いました。

2月にはビンセント氏の紹介で米国の分析ラボ視察を実施。効率化、電子化を追求したラボからは多くのヒントが得られました。



国際社会に通用する人材をめざして



日吉の仲間が増えました。 2014.3.24

社内活動

平成 26 年 3 月 24 日に入社式が執り行われました。今年は 7 名が新たな仲間となりました。創業 1955 年の日吉は間もなく 60 周年を迎えます。中小企業でサービス業の日吉は製品などの形あるものがなく、顧客や市場に訴求できるものは技術のみであり、その技術を支えるのは人材です。社は「技術立社・社会立社」を実践し、社会に必要とされる企業として存在し続け、100 年企業実現に向けた活躍に期待しています。



滋賀県内サービス業で初めて！

◇「くるみん」に認定されました

「くるみん」とは、次世代育成支援対策推進法に基づく認定を受けた企業に付与されるマークです。

日吉がこれまで取り組んできた、育児・介護を行う社員に対する働きやすい職場環境づくり、新たな休暇制度や時差出勤制度の導入等が評価されました。

- 未就学児を養育する労働者の時差出勤制度の導入
- 看護休暇取得の促進・時間単位での休暇取得を可能とする

女性 育児休業 5 名 男性 子の看護休暇 1 名



NEW ヒヨシSUN 発電所始動！

本社西側の太陽光発電システムが完成しました。環境負荷を軽減する他、災害時の自家発電としても利用できます。発電の様子は、使用電力とともに日吉のみえる化システムにてリアルタイムで日吉ネットにて確認できます。



▲ 近江八幡市長（左）と村田社長（右）

hot info vol.5 April. 2014

株式会社 日吉

info@hiyoshi-es.co.jp
www.hiyoshi-es.co.jp



本社：〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908番地 TEL.0748-32-5111 (代) FAX.0748-32-3339 / 東京支店：〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目1-7 TEL.03-5772-6073 (代)

日吉は 環境保全技術集団として、環境分析を基軸に国内外で環境サービス事業を展開。海外人材育成にも積極的に取り組んでいます。

選定理由（経済産業省ホームページ ニュースリリースより）

時代と共に変化する環境問題へのワンストップによるトータルサービスの充実により成長。環境問題に国境は無いとの信念から、海外展開も志向し、世界 19 カ国 200 名以上の研修生受入れ・専門家派遣を実施している。また海外の各種大学との共同研究などによる独自の現地ネットワークを構築し、人材育成等による国際貢献とビジネス展開をうまくリンクさせた取組を推進。



日吉が選ばれた 3つのポイント

技術力・サービス

全ては計ることからモットーに

開発・展開

ダイオキシン類の簡易検査方法を開発・導入

雇用・人材育成

雇用確保に貢献、海外人材の育成にも積極的

▶ 滋賀県知事に報告・要望



嘉田知事に都市間連携という形で日吉の技術・サービスの信頼性を現地に伝える支援を頂きたいと要望しました。知事に実情をご理解頂き、是非支援したいとお言葉を頂きました。

環境トータルソリューション企業として

日吉は環境・食品の分析、水道などの施設の維持管理、薬剤販売、廃棄物の収集運搬など環境保全事業の多岐にわたる事業を展開する環境トータルソリューションサービス企業です。

海外研修生の受入・海外人材の育成

「環境問題に国境はない」という考えから、1980 年代より 20 年以上にわたり海外人材育成や海外事業化に積極的に取り組んでいます。これまで19カ国、200 名以上の技術研修生を受入れています。

ケイラックス®の開発と海外展開

日本で初めて、迅速で安価なダイオキシン類の簡易測定生物検定法「ケイラックス®」を開発・導入。2005 年に環境省から日本の公定法として認定されました。国際産学連携により、着実な国際展開を目指しています。

経済産業省は、革新的な製品開発、サービスの創造や地域貢献・地域経済の活性化等、様々な分野で活躍している中小企業・小規模事業者・商店街の取組事例を「がんばる中小企業・小規模事業者300社」及び「がんばる商店街30選」として選定しました。今回は、これまでのものづくりからサービス業及び小売業に対象が拡大され、全国385万社ある事業所の中で1万分の1という確率の栄誉を頂くことができました。

2014.3.3
国内活動

「**がんばる中小企業・小規模事業者300社**」
に選定・表彰されました。

表彰

- ◇がんばる中小企業・小規模事業者300社
- ◇滋賀県一湖南省 友好交流功労者表彰
- ◇滋賀県安全運転管理者協会優良管理者
- ◇近江八幡市より感謝状(防災教育)
- ◇滋賀県社会福祉事業功労者 株式会社 日吉／大角浩子（個人）

滋賀の訪問したくなる企業 20選に選ばれました。

就職活動をする学生・大学に向けて滋賀県に本社を構える魅力的な中小企業を紹介する「滋賀の訪問したくなる企業20選」。日吉の取り組みや人材育成が紹介されました。

滋賀県の中小企業情報サイト S-NAVI shiga-navi.com



滋賀の訪問したくなる企業 20選





CHINA

友好交流功労者表彰受賞

2013 年は滋賀県と中国・湖南省友好提携 30 周年の年で、滋賀県ではさまざまな事業が開催されました。

記念事業の一つである、知事を団長とする技術・経済交流団の湖南省訪問に日吉も 7 月 15 日から 18 日まで同行し、事業展開の機会の創出のための湖南省の抱える環境問題の把握や人脈形成、情報収集にあたりました。

11 月 19 日には友好提携 30 周年記念式典が琵琶湖・ビアンカの船上で開催されました。その中で日吉もこれまでの湖南省技術研修生受入れなどの実績から「友好交流功労者表彰」を受賞しました。当社は 1989 年より延べ 7 名の湖南省の技術研修生を受け入れてきました。現在はそれぞれの分野の専門家として活躍しており、当社の大切なヒューマンネットワークとなっています。

アジアの環境問題に取り組む 日吉の活動と現状

— 日吉の培ってきたネットワークが活きる日 —

VIETNAM

- ・ JST-JICA プロジェクトの継続
- ・ IEEA ワークショップにて発表
- ・ グリーン成長ワークショップ(カットバ島)

2014 年 1 月に一昨年前より参加している JST-JICA プロジェクトの一環として、現在ケイラックス® 技術を導入している環境モニタリングセンターの技術フォロー及び東南アジア IEEA ワークショップにて「ダイオキシン類生物検定法ケイラックス® とベトナムにおける適用例」の発表を行いました。

3 月には、滋賀県、大阪府立大学、環境総合テクノス、ベトナム MONRE、VNU と共同で、ハイフォン市にあるカットバ島にてワークショップを開催。琵琶湖モデルの紹介、分析の必要性、グリーン成長の重要性などについて講演。ハイフォン市環境行政関係者始め 50 名が参加。今後の JICA プロジェクト提案のための人脈や意識共有などの礎作りができました。

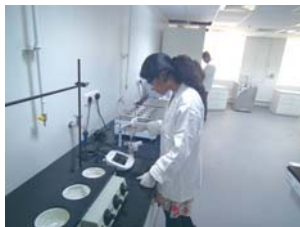


▲ グリーン成長ワークショップにて発表

INDIA

日吉インディアラボの設立

日吉の 100 % 株シェアである現地法人「日吉インディア」(Hiyoshi India Ecological Services Pvt. Ltd.) はインド第 4 位の人口を誇るインド南部のチェンナイ市にあります。2011 年に設立され、これまで ABK-AOTS DOSOKAI 内に事務所を借り、市場調査などの下準備を行ってきましたが、このたび、環境分析のためのラボ設立し、事業展開を行うこととなりました。まずは現地の STP (工場排水) の施設維持管理及び付随する水質検査業務を開始できるよう、現在急ピッチでラボの立ち上げを進めており、5 月に稼働開始の予定です。



▲ 日吉インディアラボ

TAIWAN

- ・ ダイオキシン生物検定法シンポジウム開催
- ・ びわ湖環境ビジネスメッセ IN 海外出張

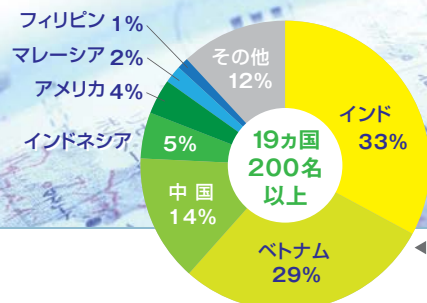
2013 年 6 月に台湾・大仁科技大学及び行政院環境保護署環境検験所 (日本の国立環境研究所に相当) にケイラックス® を導入し、この方法を用いて台湾全土の土壌調査を行い、用途別における土壌の基準値を設置して管理していく予定です。

しかし、台湾では 2010 年 6 月にダイオキシン類レポートージンアッセイ法が公定法として認定されたものの、台湾内で使用されていた他社のスクリーニング法はライセンス料が高いなど生物検定法を導入する際に高いハードルがあり、普及に至りませんでした。そこでスクリーニング法の普及を目指し、環境保護署と共催でシンポジウムを開催して台湾内の関連行政機関と研究専門家らに周知・普及を行いました。また、2014 年 3 月 13 日～ 16 日に台北で開催されたエコプロダクツ国際展のびわ湖環境ビジネスメッセパビリオンに出展し、日吉の業務を台湾に知ってもらう良い機会となりました。



人材ネットワークの 礎となるインターンシップ

世界 19 カ国 200 名以上の研修生を受け入れてきた日吉。特に、中国・東南アジア地域からの研修生は多く、日吉からの技術者派遣も実績があります。今後、環境技術のニーズが高まってくるアジア諸国で日吉の研修生たちが活躍する時代がやってきました。



◀ 日吉の研修生受入国の割合

海外 intern from foreign countries

from ベトナム

2013 年 8 月にはベトナム国家大学 (VNU) から 2 名が残留農業やケイラックス® の研修に来社。11 月には地方環境行政関係者 3 名 (ハロン湾管理局、クワンニン省環境監視センター、ダナン環境技術センター) が化学分析及び排水処理施設維持管理の研修に来社。2013 年 9 月から 5 カ月間、経済産業省の「国際即戦力育成インターンシップ事業」を利用してハノイの環境技術研究所へ当社社員 1 名を派遣し、現地調査等を行いました。



他のインターン受入事例

- マレーシア国民大学
- 国際湖沼委員会研修
- 京大・中国 清華大環境技術共同教育センター

国内 intern from Japan

長浜バイオ大学

日吉の微生物学的検査について受付から分析・計量証明書の発行に至る一連の仕事の流れについて説明し、特に微生物検査については実習をしてもらいました。



奈良先端科学技術大学院大学

社内見学时及び質疑応答では、活発な質問が飛び交い、短時間の中で内容の濃いものにして持ち帰ろうという学生達の集中した真剣さが強く感じられました。



日吉では環境技術を身近に感じてもらうため、各種インターンシップを受け入れています。

- | | | | |
|----------------|--------------|--------------|------------|
| ■ 近江八幡市立八幡中学校 | ■ 滋賀県立八幡工業高校 | ■ 滋賀県立大学 | ■ ビット委託研修生 |
| ■ 近江八幡市立八幡東中学校 | ■ 滋賀県立彦根工業高校 | ■ 龍谷大学 | |
| ■ 守山市立明富中学校 | ■ 滋賀県立瀬田工業高校 | ■ 滋賀県立八幡商業高校 | |